

品川区議会議員 区政報告

日本共産党



おくの晋治

区議控室：〒140-8715 品川区広町2-1-36 Tel：03-5742-6818 Fax：03-3778-3088

区政報告について、ご意見、ご要望をお寄せ下さい。
ホームページ：<http://www.jcp-shinagawa.com/>

第4回定例会の最終日

「武蔵小山駅前での再開発の中止

を求める請願」に賛成討論



12月9日、品川区議会の第4回定例会は閉会しました。

私は、武蔵小山駅前の2棟の超高層マンションに続いて計画されている、商店街をまたぐ2つの再開発計画のうちの1つ、小山三丁目第1地区再開

の民主的運営を求める請願に対して賛成する討論を行いました。

小山三丁目第1地区には、145m、40階建てのマンションを1棟。第2地区には、145m、41階建てのマンションを2棟。この2つの再開発が完成すれば、5棟ものタワーマンションが林立、ムサコの光景は一変してしまいます。

請願を出された方々は第1地区にあるマンション住人で、第1地区の都市計画手続きを中止し、計画を見直すことを求めています。それは、請願者の住むマンションの住人には、再開発によって

おくの晋治プロフィール：1956年愛媛県松山市生まれ。愛光学園中学・高校、東京大学法学部卒。塾講師・家庭教師、品川区議団事務局を経て、2018年9月初当選。現在2期目。西五反田在住。趣味は映画・演劇鑑賞。山田洋次が大好き。

新たに建設されるマンションに住むことを選んだ場合にも、選ばず転出していくことにした場合にも、将来安定して住み続けられる住居が確保できるという見通しや保証が全くないため、再開発を進めて欲しくないという方が多数いるからです。

成を得たと言います。しかし、第1地区では、再開発を進めて欲しくないと思っている方が多数いるからこの請願が出されたのですし、第2地区については、この請願の署名を集める中で、地権者の方から、自分はよく分からないので再開発に賛成とも反対とも判断できないという声を直接伺いました。また、「必要な情報が示されてない」などとも聞くなど、情報不足によって不安を抱いているのは明らかです。

私は、まず大切なのは、何よりも請願者の住むマンション居住者多数の方々の不安が、今も何も解消されてないということだ、と指摘しました。

これに対して区は、この都市計画は準備組合の総会で他の多くの方の賛成を得、特に第2地区については出席者全員の賛

計画決定後に一人一人に確認したい」と言います。

しかし、まず、再開発によって新たに建設される超高層マンションに住むことを選ぶにせよ、転出することを選ぶにせよ、事は自分の住居という一生に一度の大きな選択であり、決断です。「適切な判断」との曖昧な説明のみで決断できるものではありません。

また、「必要な情報が示されてない」などとも聞くなど、情報不足によって不安を抱いているのは明らかです。

次に、区はこの不安に対して、「一人一人の状態を確認しながら適切に判断していく」、「都市

でいるから問題ないとも言いますが、都市計画法

では再開発本組合が作られるまでは、当事者である地権者に対して、何もし体的な条件は知らされる仕組みになっていません。いくら法律通り手続きが進められても、当事者である住人、地権者としては、不安を抱いたまま

しかも、この不安を残したままこれ以上手続きを進めるわけにはいきません。都市計画決定の段階に至ればもはや後戻りなど困難になるからです。**区は、「法によって定められた手続き」を踏ん**

自分の住居という本人にとっては生存権保障の土台であり人生を大きく変えるものを、個々具体的な条件を何も知らされることなく決断させられるというのは、あまりにも理不尽なことではないでしょうか。

都心・品川低空飛行の羽田新ルート計画は撤回を

日本共産党